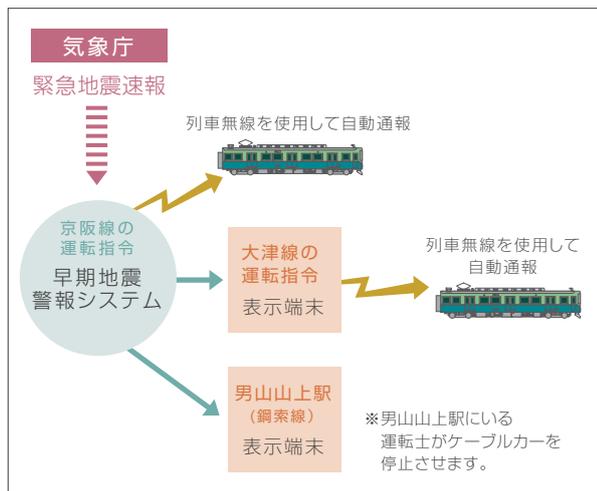


自然災害対策

早期地震警報システム

気象庁から配信される緊急地震速報の情報を列車無線によって全列車に自動的に通報するシステムです。運転士は危険箇所を避けようと緊急停止を行い、被害の最小化を図ります。

■ 早期地震警報システム



建造物の安全対策

● 高架橋などの耐震補強工事

万一の大地震に備え、鉄道の高架橋、鉄橋などのコンクリート柱に鋼製枠や合成繊維などを巻き、より強靱な構造物とする補強工事を行っています。



▲ 工事中



▲ 完成

駅の安全のために

ホーム異常通報装置

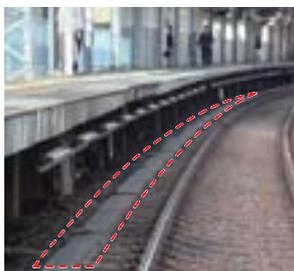
お客さまがホームから線路上に転落された場合などに、ホーム上に設置した非常通報ボタンを押すと、乗務員および駅係員に特殊信号発光機および警報ランプと警報サイレンで異常を知らせます。事故を未然に防止するために設けた装置で、京阪線23駅、大津線26駅に設置しています。



ホーム異常通報装置 ▶

ホーム転落検知装置

駅ホームが急な曲線となっていて、電車とホームのすきまが広い場所において、お客さまがホームから線路上に転落された場合、線路に敷設された検知マットにより、乗務員および駅係員に異常を知らせるホーム転落検知装置を設けています。京阪線4駅、大津線1駅に設置しています。



ホーム転落検知装置 ▶

列車接近表示盤

耳の不自由なお客さまに列車の接近・通過をお知らせする装置で、通過列車の場合には、文字が点滅して注意を喚起します。京阪線36駅、大津線6駅に設置しています。



◀ 列車接近表示盤

ワンマン運転対応

交野線と京津線、石山坂本線はワンマン列車を運行しています。安全をより確かなものにするため、ホームミラーやホームモニター、ホーム異常通報装置、限界支障検知装置、ホーム検知装置など数々の保安設備を設け安全には万全を期しています。



▲ ホームミラー

◀ ワンマン運転対応車両